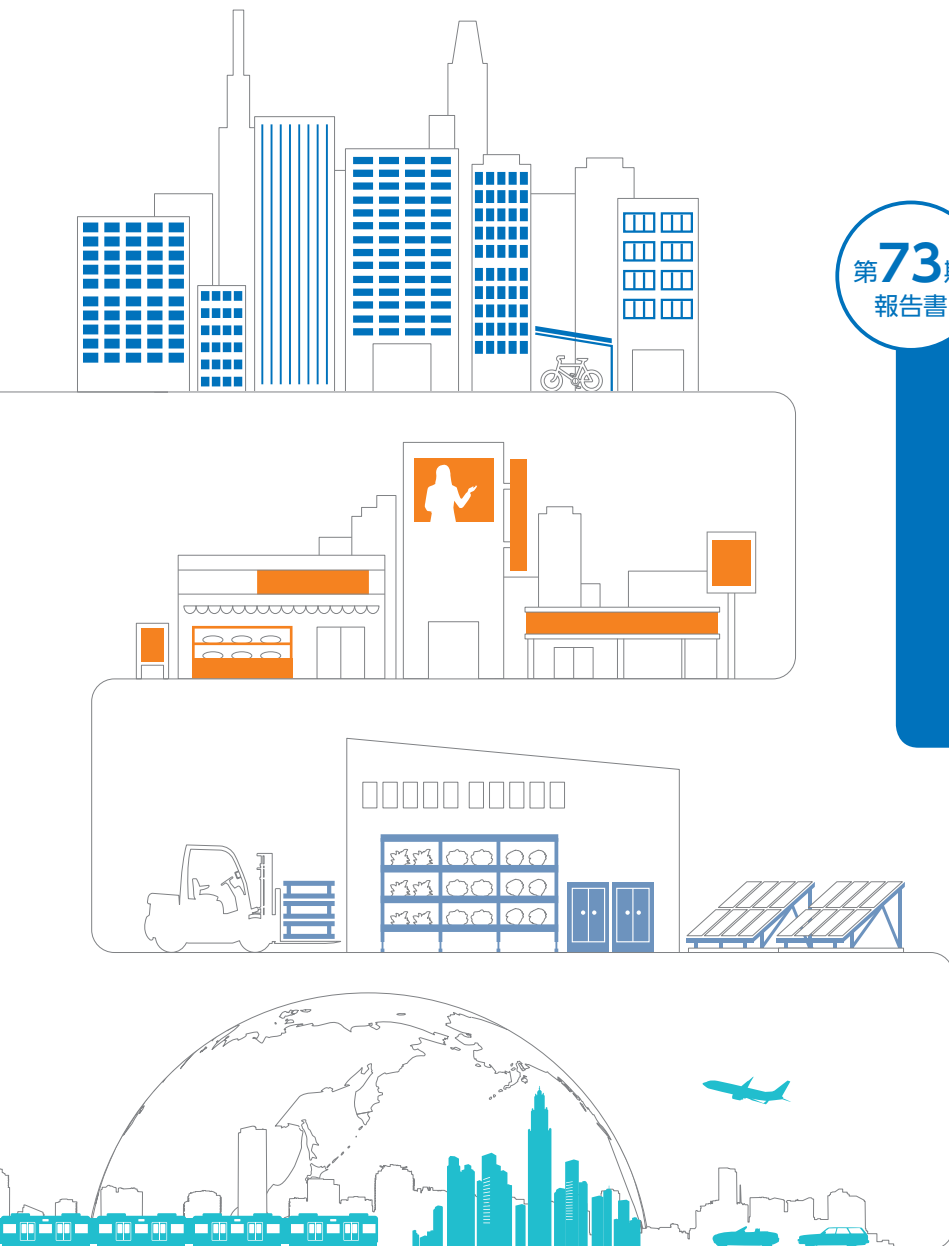


Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし



第73期
報告書

株主の皆様へ

2017年6月1日 ▶ 2018年5月31日

Contents

経営の概況	01
特集：新中期経営計画について	03
セグメント別の概況	05
TOPICS	10
連結財務諸表	13
会社概要／株式情報	14

 三協立山株式会社

証券コード 5932



代表取締役社長
山下 清胤

当期の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、住宅投資は前年比減で推移しましたが、企業収益の改善に伴う設備投資や雇用環境が堅調なことなどにより、総じて緩やかな回復基調で推移しました。海外経済は、米国の通商政策動向が懸念されるものの、米国、欧州で景気拡大が続き、中国などアジア諸国においても堅調に推移しました。

国内建材市場は、2017年度の新設住宅着工戸数は94.6万戸(前年度比97.2%)と前年度を下回り、新設着工全体に占める持家構成比も前年比減となりました。

アルミニウム形材およびビレットの国内市場は、自動車などの輸送分野、一般機械分野を中心に堅調に推移しました。

商業施設市場は、専門量販店ではドラッグストア業態が堅調に推移しましたが、市場全体での設備投資抑制が続き、新規出店数は減少しました。

海外市場は、欧州やタイで堅調に推移し、アルミニウム押出形材需要も増加しました。

このような状況下、当社グループは2020年までを目標とした『VISION2020』の成長戦略である「改装・リフォーム事

業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」の推進と、中期経営計画(2016年5月期～2018年5月期)の最終年度として、基本方針である『国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現』に基づく諸施策の展開に注力してまいりました。商業施設事業においては、2018年1月1日付けでコクヨ株式会社のストア事業を会社分割の方法により承継しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、マテリアル事業や国際事業での需要獲得などにより、売上高は3,284億9百万円(前連結会計年度比2.4%増)と増収となりましたが、建材事業の売上減少や原材料価格の上昇影響などにより、営業利益は12億1百万円(前連結会計年度比82.1%減)と減益となりました。また、経常利益は15億36百万円(前連結会計年度比77.5%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は7億31百万円(前連結会計年度は、21億22百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)とそれぞれ減益となりました。

今後の見通し

今後の見通しとしては、国内経済は引き続き企業収益や雇用環境の改善などを背景に底堅く推移するものと思われます。海外経済においては、米国の通商政策による懸念材料がありますが、全体としては緩やかな拡大基調が続くものと思われます。

建材市場では、2018年度の市況は前年並みで推移するものと見込まれます(新設住宅着工戸数94.5万戸：前年度比100%、非木造建築着工床面積76,900千㎡：前年度比99.5%)。アルミニウム形材およびビレットの国内市場では、輸送分野や一般機械分野を中心に引き続き堅調な需要が見込まれます。商業施設市場では、新店需要は減少傾向にあるものの、店舗改装やメンテナンス需要は堅調に推移するものと見込まれます。海外市場では、米国通商政策による

アルミ地金価格の変動懸念があるものの、輸送分野を中心にアルミニウム形材需要が堅調に推移するものと見込まれます。

このような状況を踏まえ、今後の中長期的な市場見通しと当社が目指すべき事業構造を見据えて、次期3ヵ年(2019年5月期～2021年5月期)の新中期経営計画を策定いたしました。

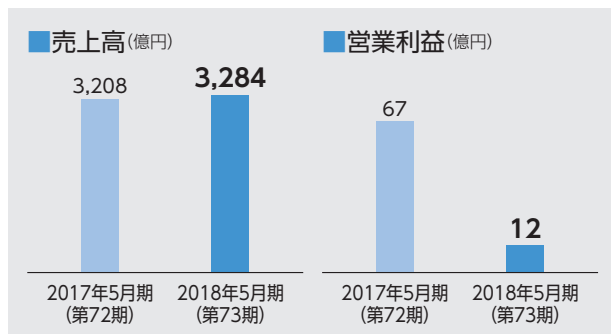
基本方針として『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』を掲げ、

1. 収益改善
2. 成長事業、グローバルシナジーの拡大
3. 次なる事業領域の開拓

により、市場構造変化に対応した事業ポートフォリオの構築を目指してまいります。

創業の原点である「お客様・地域社会・社員」の三者が協力し共栄するという協業の精神を当社グループ全体が認識し、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を展開することで、引き続きグループ企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

お客様・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

お客様
満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値
創造

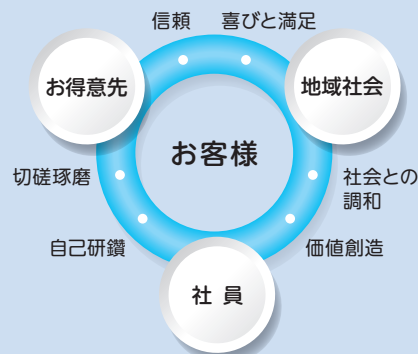
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との
調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己
研鑽

④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

中期経営計画 (2019年5月期～2021年5月期)

三協立山グループは、長期的に目指す事業構造を描き、次期3ヵ年 (2019年5月期～2021年5月期) の新中期経営計画を策定いたしました。

下記の方針に基づく施策を推進し、市場構造変化に対応した事業ポートフォリオの構築を目指してまいります。

基本方針

変革と価値創造

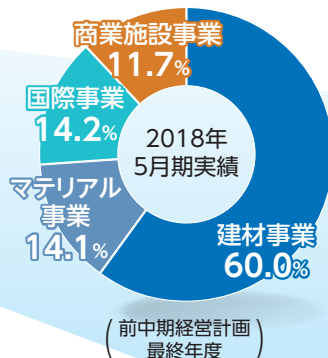
— 安定かつ成長可能な事業構造へ —

1 収益改善

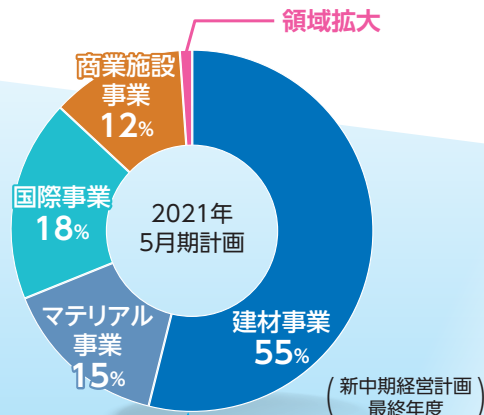
2 成長事業、グローバルシナジーの拡大

3 次なる事業領域の開拓

事業構成比



中期経営計画
3ヵ年



各セグメントの方針

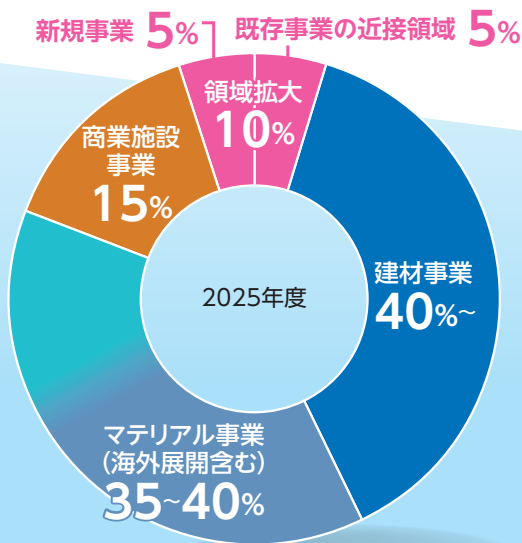
- 建材事業** → 環境提案・差別化商品・EX需要開拓・住居改修への注力と生産性向上
- マテリアル事業** → 合金・大型形材・加工対応力を生かした成長産業分野の顧客獲得とグループシナジー創出
- 商業施設事業** → 営業提案強化による市場拡張戦略の展開、承継事業とのシナジー創出
- 国際事業** → グローバルシナジーの発現と生産性改善による早期収益貢献
- 領域拡大** → 植物工場分野の事業化、サービス分野や既存事業近接領域の事業開発

長期的に目指す事業構造

素材と空間とサービス分野で 価値創造する企業へ

- 1 強みへの資源注力
- 2 グローバルでの事業成長
- 3 領域拡大

「安定」と「成長」に向けた事業ポートフォリオ構築



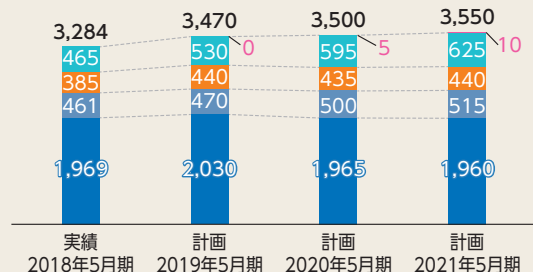
中期経営
計画後の
5カ年

中期経営計画 経営指標

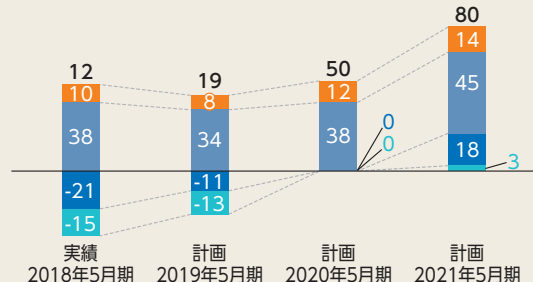
	2018年5月期 実績	2021年5月期 目標
売上高	3,284億円	3,550億円
営業利益 (率)	12億円 (0.4%)	80億円 (2.2%)
自己資本比率	30.8%	33%以上
配当	1株あたり15円	安定配当を基本としつつ業績・内部留保の充実を勘案
ROA (純利益ベース)	-0.3%	1.8%
ROE (純利益ベース)	-0.9%	5.4%

セグメント別計画

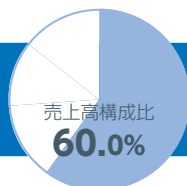
売上高 (億円) ■ 建材 ■ マテリアル ■ 商業施設 ■ 国際 ■ その他



営業利益 (億円) ■ 建材 ■ マテリアル ■ 商業施設 ■ 国際



セグメント別の概況



建材事業

三協アルミ

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と省エネ・バリアフリー・高耐久性を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

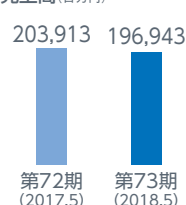


売上高
1,969億43百万円
(対前年同期比3.4%減)

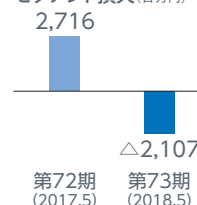


セグメント損失
21億7百万円
(前連結会計年度は
27億16百万円のセグメント利益)

売上高(百万円)



セグメント損失(百万円)



建材事業は、ビル分野での短工期工事受注や住宅分野での販売網の拡充に努めたものの、新設住宅着工戸数など市況が前年比減で推移していることや競合環境が継続していること、アルミ地金など原材料価格の上昇影響などにより、売上高は1,969億43百万円(前連結会計年度比3.4%減)、セグメント損失は21億7百万円(前連結会計年度は、27億16百万円のセグメント利益)となりました。

ビル建材・STER

ビル建材事業では、ビル用基幹サッシ「MTG-70R」をはじめ、高性能省エネサッシシステム「ARM-S」、自然換気システム「スウィンドウ」など、差別化商品の拡販に注力してまいりました。また、店舗用建材「STフロント」に、オフィスやビル・店舗などで需要が高まっている複層ガラスへの対応が可能なガラス溝幅35mmタイプを追加するなど、商品力強化に努めてまいりました。

改装・環境分野のSTER事業では、集合住宅や学校、官庁および民間施設などへの快適なリフォームや環境に配慮した省エネ提案に注力してまいりました。



高性能省エネサッシシステム「ARM-S」



自然換気システム「スウィンドウ」



三協ソーラー

住宅建材

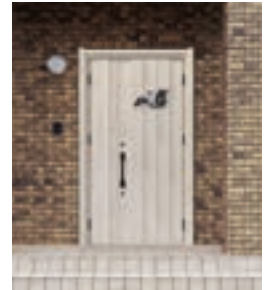
住宅建材事業では、新構造のガラス組み込みタイプなど多彩なデザインバリエーションを取り揃えたインテリア建材シリーズ「リヴェルノ」を市場投入するとともに、フラットレールが好評のアルミ樹脂複合ハイスペックサッシ「アルジオ」の防火地域用「防火窓アルジオ」に、横引き窓タイプの「採風勝手口ドア」をラインアップするなど、商品力強化に注力してまいりました。また、リフォーム分野においては、1日で簡単に玄関ドアの取り替えができる「ノバリス リフォーム玄関ドア」の拡販に注力してまいりました。



インテリア建材「リヴェルノ」

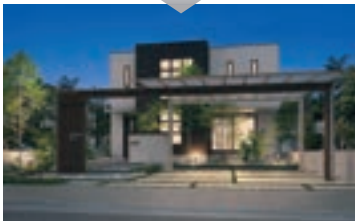


アルミ樹脂複合ハイスペックサッシ
「防火窓アルジオ」



「ノバリス リフォーム玄関ドア」

エクステリア建材



カーポート「スカイリード」

エクステリア建材事業では、オープンな屋根が特長のカーポート「スカイリード」に、梁下スクリーンやダウンライトなどの新アイテムを加えることで、カースペースからアプローチを繋ぐファサード空間の昼と夜の演出を可能にするなど、差別化商品の強化に注力してまいりました。また、モダンでシックなガーデンフロア「ラステラ」にガラス製「クリアフェンス」などを加え、バリエーションを拡充するとともに、クイズに答えて応募すると抽選でヘリコプター遊覧飛行などが当たるラステラキャンペーン第2弾『君と空と過ごそう。キャンペーン』を開催するなど、市場拡販に向けた取り組みを進めてまいりました。



ガーデンフロア「ラステラ」

売上高構成比
14.1%

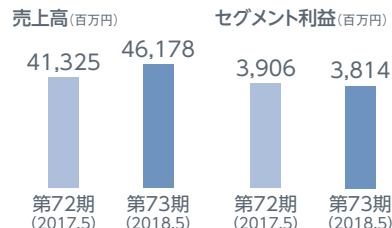
マテリアル事業

三協マテリアル

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。

売上高
461億78百万円
(対前年同期比11.7%増)

セグメント利益
38億14百万円
(対前年同期比2.4%減)



マテリアル事業では、一般機械分野や輸送分野の需要が堅調であることやアルミ地金市況と連動して売上高が増加したことなどにより、売上高は461億78百万円(前連結会計年度比11.7%増)となりました。

セグメント利益は、燃料費・電力料や物流費の増加などにより、38億14百万円(前連結会計年度比2.4%減)となりました。



アルミ製防火衣ロッカー





商業施設事業

タテヤマアドバンス

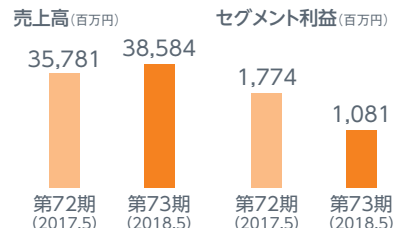
ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。



売上高
385億84百万円
(対前年同期比7.8%増)



セグメント利益
10億81百万円
(対前年同期比39.0%減)



商業施設事業では、2018年1月からコクヨ株式会社のストア事業承継により売上が増加したことや、提案営業により改装需要を取り込んだことなどにより、売上高は385億84百万円(前連結会計年度比7.8%増)となりました。

セグメント利益は、コクヨ株式会社のストア事業承継に伴う一時費用の発生や営業体制強化による販管費の増加、物流費の増加などにより、10億81百万円(前連結会計年度比39.0%減)となりました。



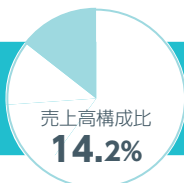
店舗用陳列什器「タテヤマゴンドラ」



調剤カウンター



料金可変サイン

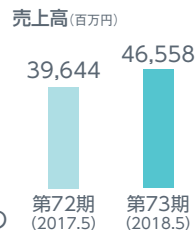


国際事業

欧州・中国・タイにある海外拠点において、アルミニウムの鋳造・押出・加工を行い、高付加価値製品を提供しています。

売上高
465億58百万円
(対前年同期比**17.4%**増)

セグメント損失
15億35百万円
(前連結会計年度は16億40百万円のセグメント損失)



国際事業は、欧州・タイでの輸送分野の需要取り込みや為替影響などにより、売上高は465億58百万円(前連結会計年度比17.4%増)となりました。

しかしながら、原材料価格の上昇や生産性向上など収益改善の遅れなどにより、セグメント損失は15億35百万円(前連結会計年度は、16億40百万円のセグメント損失)となりました。



STEP-G Bitterfeld工場



STEP-G押出型材



アルミ樹脂複合ハイスペックサッシ「アルジオ」 バリエーション拡充

お手入れ簡単「フラットレール」や開閉操作がしやすい「どこでも引手」の対応窓種拡充

三協アルミは、高い断熱性は勿論、暴風雨などの自然災害に備えた高耐久性を実現するとともに、開閉やお手入れのしやすさにもこだわった、アルミ樹脂複合ハイスペックサッシ「アルジオ」(ALGEO)のバリエーションを拡充しました。

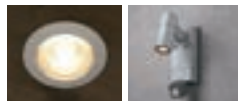
一般地域用には「たてすべり出し窓」「すべり出し窓」にハンドル操作のしやすいカムラッチハンドルをラインアップ。防火地域用「防火窓アルジオ」には、開閉操作がしやすい「どこでも引手」を採用した「横引き窓タイプの採風勝手口ドア」をラインアップするとともに、お手入れ簡単「フラットレール」の対応窓種追加など、こだわった窓種を中心に商品バリエーションを拡充しました。



カーポート「スカイリード」バリエーション拡充

カースペースから広がるファサード空間
～ローボルト照明によるナイトシーンも演出～

三協アルミは、中棧(屋根パネルを支える補助部材)なしの新構造でスタイリッシュなデザインが特長のカーポート「スカイリード」のバリエーションを拡充しました。住まいの外観をコーディネートしやすい「木調色フレーム」をはじめ、印象をグレードアップする「梁下スクリーン」やナイトシーンが演出できる「ダウンライト・スポットライト(ローボルト照明)」などを発売したことで、これまでにないファサードシーンの演出が可能となりました。



「2018エクステリア新商品展示会」全国で開催

～「カーポートグランプリ」当選者への
SUZUKIハスラー・キー贈呈式を静岡会場にて開催～

三協アルミは、2018年4月7日～6月8日にかけて、静岡・東京・名古屋・福岡・仙台・大阪・長野の全国7都市で「2018エクステリア新商品展示会」を開催しました。4月7日、同展示会の初日となる静岡会場では、昨年開催した「車庫No.1を決める!カーポートグランプリ」において、投票総数約80,000票の中から抽選で選ばれた「SUZUKIハスラー」の当選者1名への贈呈式を開催。三協アルミ社 エクステリア事業部長 事業役員 西 孝博より、当選者に「SUZUKIハスラー」のレプリカキーを贈呈しました。





NEDOとISMA「マグネシウム合金による高速鉄道車両部分構体」試作を発表

三協マテリアルほか、非鉄金属・車両メーカーなど10社のノウハウを結集

2018年6月12日、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と新構造材料技術研究組合(ISMA)は、三協マテリアルや総合車両製作所、川崎重工業などが共同開発している「難燃性マグネシウム合金を用いた世界最大級の高速鉄道車両部分構体」の試作に成功したことを発表しました。

マグネシウム合金は一般的なアルミニウム合金と比べて3割程度軽いため、実用化すれば鉄道の高速度化、省エネ化に貢献することができます。今回の発表により、マグネシウム合金の鉄道構体への適用の可能性が実証されました。現在は長さ1mの部分構体ですが、今後さらに長い構体の試作を進めます。

当社は、試作体の屋根や側面部分に使用される押出材を、長岡技術科学大学、物質・材料研究機構と共に担当しており、当日の会見には、当社を含め本件に参画している非鉄金属・車両メーカーなど10社が出席しました。



省力化商品の提案を推進

～小売業の労働力不足に対応～

タテヤマアドバンスは、小売業界で労働力不足が深刻化し、店舗の省力化ニーズが高まっていることから、店舗運営の効率化に向けた省力化商品の提案を進めてまいりました。

具体的には、セミセルフレジ筐体の提案をはじめ、業務を簡易化・効率化するレジ周り商品やスライド式陳列棚などの提案、店舗メンテナンス業務の提案(ショップサービス)などを進めてまいりました。



「SIGN EXPO 2018」出展

～サイン・看板などを展示～

タテヤマアドバンスは、2018年6月13日～6月15日の3日間、大阪南港ATCホール(大阪市)にて開催された「SIGN EXPO 2018 (第33回広告資機材見本市)」に出展しました。

今年7月に電球色を追加発売したサイン用外照式LED照明「アドビューン」をはじめ、ショーケース「ルミグラス」や次世代商品の参考展示など、商品を多数出展しました。





海外子会社 STEP-G 生産能力増強 ～輸送分野の軽量化ニーズに対応～

STEP-Gは、自動車や鉄道、航空機などの輸送分野における軽量化ニーズに広く対応するため、生産設備能力の増強を行いました。Bonn工場(ドイツ)では押出機の押出能力を100メガニュートン(約11,000トン)に更新し、最大30インチ(約75cm)までの大型アルミ型材の生産が可能となりました。また、天津工場(中国)とBonn工場(ドイツ)に、アルミバンパー(リインフォースメント)の自動加工設備を導入したことで、高い品質の製品を安定的に供給できる体制が整い、年間600,000本の生産が可能となりました。



ドイツの建材展示会 「FENSTERBAU」に STEP-G “BUG”ブランドを出展

STEP-Gは、2018年3月21日～24日の4日間、ドイツのニュルンベルグで開催された、建材展示会「FENSTERBAU (フェンスターバウ) 2018」において、“BUG(ブグ)”のブランド名で製造・販売しているアルミと木の複合サッシなどを出展しました。同展示会にはドイツをはじめ世界各国の窓メーカー、ガラスメーカーなど814社が出展。並行開催された、木材加工産業の展示会「HOLZ-HANDWERK」とあわせ、123か国、110,000人以上が来場しました。



「未来のとびらコンテスト」 作品募集 大学生版6月、小学生版7月スタート

三協アルミは、全国の子どもたちに「ドア・窓・門扉などの建材に興味をもってもらいたい」との想いから、「未来のとびらコンテスト」を毎年開催しています。

今年度は、全国の建築・デザインを学ぶ学生向けの「未来のとびらコンテスト(大学生版)～学生デザインコンペ～」を6月よりスタート。全国の小学生を対象にした「未来のとびらコンテスト(小学生版)」は7月より募集をスタートしました。



©藤子プロ・小学館・
テレビ朝日・シンエイ・ADK



「ツインリーフの森づくり」

第15回根踏み活動・
第16回下草刈り活動実施

三協立山は、2018年4月22日、とやま・ふくおか家族旅行村において「ツインリーフの森づくり」活動の第15回目となる根踏み活動を実施。ボランティア参加の従業員とその家族ら計107名が参加しました。当日は、雪で倒れた苗木(昨年、一昨年の秋に植樹した苗木)を起こして根本を踏み固め、竹支柱と苗木を紙紐で軽く縛る作業を行いました。



また、6月17日には、16回目の活動として、当社従業員とその家族のボランティア計43名による下草刈り活動を実施しました。

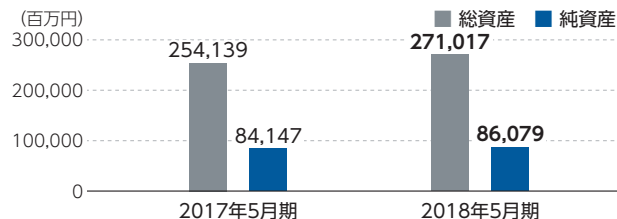


連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 2018年5月31日現在	前 期 2017年5月31日現在
資産の部		
流動資産	135,904	120,407
現金及び預金	23,689	21,785
受取手形及び売掛金	48,276	47,834
電子記録債権	5,490	5,611
有価証券	858	653
商品及び製品	15,516	13,651
仕掛品	17,358	15,248
原材料及び貯蔵品	10,824	9,955
繰延税金資産	1,883	2,002
その他	13,167	5,219
貸倒引当金	△1,160	△1,553
固定資産	135,112	133,732
有形固定資産	106,201	106,750
無形固定資産	6,873	6,639
投資その他の資産	22,036	20,342
資産合計	271,017	254,139
負債の部		
流動負債	107,012	98,544
支払手形及び買掛金	44,529	43,266
電子記録債務	14,876	13,623
短期借入金	8,818	9,042
その他	38,785	32,611
固定負債	77,925	71,447
転換社債型新株予約権付社債	7,515	15,035
長期借入金	39,539	28,513
その他	30,870	27,898
負債合計	184,938	169,991
純資産の部		
株主資本	76,518	78,438
その他の包括利益累計額	6,839	3,197
非支配株主持分	2,721	2,510
純資産合計	86,079	84,147
負債純資産合計	271,017	254,139



■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 2017年6月1日～ 2018年5月31日	前 期 2016年6月1日～ 2017年5月31日
売上高	328,409	320,817
売上原価	261,387	247,843
売上総利益	67,022	72,974
販売費及び一般管理費	65,820	66,260
営業利益	1,201	6,713
営業外収益	2,413	2,342
営業外費用	2,077	2,212
経常利益	1,536	6,842
特別利益	347	83
特別損失	803	2,067
税金等調整前当期純利益	1,081	4,858
法人税等	1,562	2,418
当期純利益	△481	2,440
非支配株主に帰属する当期純利益	250	317
親会社株主に帰属する当期純利益	△731	2,122

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 2017年6月1日～ 2018年5月31日	前 期 2016年6月1日～ 2017年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,530	7,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,401	△11,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,975	△1,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	210	△266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,313	△5,613
現金及び現金同等物の期首残高	20,750	26,363
現金及び現金同等物の期末残高	30,064	20,750

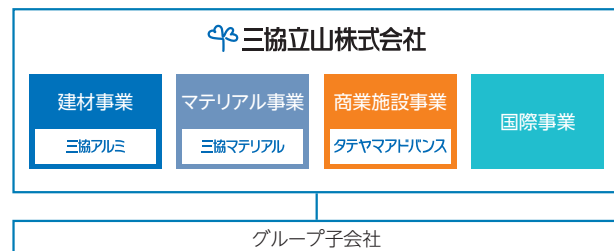
■ 会社概要

会 社 名 三協立山株式会社
 所 在 地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 設 立 1960年6月20日
 資 本 金 150億円
 従 業 員 数 5,654名
 U R L <http://www.st-grp.co.jp/>

■ 取締役および監査役 (2018年8月29日現在)

代表取締役社長	山 下 清 胤
代表取締役専務	中 野 敬 司
常務取締役	岡 本 誠
常務取締役	庄 司 美 次
常務取締役	山 田 浩 司
取締役	平 能 正 三
取締役	黒 崎 聡
取締役	池 田 一 仁
社外取締役	武 島 直 子
取締役 監査等委員 (常勤)	西 岡 隆 郎
社外取締役 監査等委員 (常勤)	野 崎 博 見
取締役 監査等委員 (常勤)	三 村 伸 昭
社外取締役 監査等委員	堀 祐 一
社外取締役 監査等委員	釣 長 人

■ 事業セグメント



■ 株式の状況

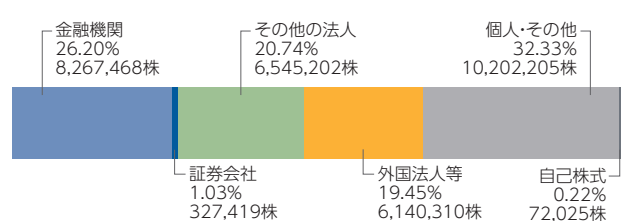
発行可能株式総数…………… 150,000,000株
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株
 株主数…………… 19,504名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 千株	出資比率 %
住友化学株式会社	2,235	7.10
三協立山社員持株会	1,176	3.73
三協立山持株会	1,021	3.24
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	987	3.13
三井住友信託銀行株式会社	971	3.08
ST持株会	971	3.08
株式会社北陸銀行	888	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	864	2.74
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST. BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM	845	2.68
住友不動産株式会社	809	2.57

(注) 出資比率は自己株式72,025株を除いて算出しております。

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日
 定時株主総会 8月
 基準日 定時株主総会 5月31日
 期末配当 5月31日
 中間配当 11月30日

上場証券取引所 東京
 公告方法 電子公告 (<http://www.st-grp.co.jp/>)
 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所
 <郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 <電話照会先> ☎ 0120-782-031
 <インターネットホームページURL> <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお届出および ご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および 買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.st-grp.co.jp/>

三協立山

検索

今後のIRスケジュール

2018年
10月上旬

2019年5月期
第1四半期決算発表

2019年
1月上旬

2019年5月期
第2四半期決算発表

2019年
2月上旬

2019年5月期
中間報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 TEL 0766-20-2101

UD
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。